

JAMSTEC NEWS

九州大学との連携大学院協定の締結

独立行政法人海洋研究開発機構は、国立大学法人九州大学(総長 梶山千里)と平成2005年4月1日付けで「国立大学法人九州大学と独立行政法人海洋研究開発機構の教育研究への連携・協力に関する協定」を締結しました。

連携大学院制度は、当機構の研究者が大学の客員教員に任用され、当該大学大学院の学生に教育研究指導を行うことができる制度です。

今回の連携大学院協定の締結は、すでに2004年11月26日付けで両機関によって締結されている「海洋ロボットの研究開発と応

用における包括的連携研究に関する協定」に基づく活動の一環として行うものです。

包括的連携研究協定では、当機構「海洋工学センター」の研究者4名が九州大学応用力学研究所での海洋ロボット工学に関する研究に参画しております。このたびの連携大学院協定の締結により、前記の研究参画者の内、2名が九州大学大学院総合理工学府の客員教授及び客員助教として委嘱を受け、大学院学生に対する講義、調査実験などを通して教育研究指導等にも当たり、九州大学と当機構との教育研究に関わる広範な協力活動が可能となります。

なお、九州大学との連携大学院に関する協定は、当機構にとって9番目となり、これまで東海大学、広島大学、東京工業大学、高知大学、神戸大学、東京海洋大学、明治大学および東洋大学の8大学と連携大学院協定を締結しております。

当機構の中期計画では、「研究者および技術者の養成と資質の向上」を目指しており、本連携大学院制度を活用して、若手研究者を積極的に受け入れ、将来の研究人材の育成に資するとともに、研究の活性化に反映されることが期待されます。

(経営企画室 評価交流課)

JAMSTEC NEWS

横須賀本部施設一般公開のお知らせ

横須賀本部の施設一般公開を右記のとおり行います。実物に触れていただくコーナーや研究者の講演等を行いますので、ぜひお出かけ下さい。(総務部)



去年の一般公開の様子



日時：平成17年5月14日(土)9:30~16:00(受付は15:30まで)  
場所：神奈川県横須賀市夏島町2-15  
海洋研究開発機構 横須賀本部  
問合せ先：海洋研究開発機構 普及・広報課 電話046-867-9066  
主な公開内容：1) 潜水調査船「しんかい2000」実機展示  
2) 無人探査機「うらしま」実機展示  
3) 海洋調査船「かいよう」一般公開  
4) 公開セミナー  
5) 弱者救助公開実演  
6) 体験コーナー／海洋実験教室他

※ 当日は京浜急行追浜駅から海洋研究開発機構行き専用無料送迎バスを運行します。  
※ 駐車場を準備していますが、駐車できる台数に限りがありますので、できる限り専用無料送迎バスをご利用願います。

JAMSTEC NEWS

人事往来

日付	氏名	異動内容	新	旧
H17.3.30	小野 英明	退職	(財務省)	経理部次長
H17.3.31	松野 太郎	退職		横浜研究所地球フロンティア研究センター長
H17.3.31	大森 勝良	退職		横浜研究所地球フロンティア研究センター長補佐
H17.3.31	竹内 謙介	退職		地球環境観測研究センター海大陸観測研究計画プロジェクトディレクター
H17.4.1	時岡 達志	昇任	横浜研究所地球環境フロンティア研究センター長	横浜研究所地球環境フロンティア研究センター地球温暖化予測研究プログラムディレクター(文部科学省)
H17.4.1	森本 浩一	採用	経営企画室研究企画統括	
H17.4.1	大塚 清	採用	地球観測研究センター長補佐	
H17.4.1	水野 恵介	採用	地球観測研究センター気候変動観測研究プログラムディレクター	
H17.4.1	松野 太郎	採用	横浜研究所地球環境フロンティア研究センター特任研究員(非常勤)	
H17.4.1	佐賀 肇	採用	横浜研究所地球深部探査センター運用管理室長	

お詫びと訂正：JAMSTECニュースなつしま 第12号記事内「スマトラ島沖緊急調査で亀裂や斜面崩壊跡確認」のキャプションにおきまして表記の誤りがありました。お詫び申し上げますとともに訂正いたします。 誤：水深2150m→正：水深2105m

独立行政法人海洋研究開発機構	横浜研究所	〒236-0001	神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25	TEL 045-778-5316
本部		〒237-0061	横須賀市夏島町2番地15	TEL 046-867-9066
むつ研究所		〒035-0022	青森県むつ市大字関根字北関根690番地	TEL 0175-25-3811
	国際海洋環境情報センター	〒905-2172	沖縄県名護市字豊原224番地の3	TEL 0980-50-0111
	東京事務所	〒105-0003	東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル10階	TEL 03-5157-3900

創立記念式典  
加藤理事長挨拶

(平成17年4月1日：於 横須賀本部 大講義室)



当機構が独立行政法人として新たに発足してから、本日で1年が経過しました。ここに皆様とともに1周年を迎えられたことは、役員および関係各社の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。また、本日の永年勤続表彰ならびに業績表彰受賞者の皆様には、衷心よりお祝いと共に感謝申し上げます。

さて、この1年を振り返りますと、昨年7月に大きな組織改編を行い、海洋研究開発機構としての新しい体制を整備致しました。また、昨年12月に中期計画を達成するため、具体的な目標と活動を定めたアクションプランを作成し、役員一丸となってプランに沿って業務を遂行しているところでございます。

昨年度の主な成果としましては、まず地球環境変動研究の分野で「地球シミュレータ」を用いた100年後の地球温暖化予測計算が完了し、温暖化により日本では猛暑と豪雨が増加するという結果を得ました。また、南極海の深層水の流れをシミュレーションにより再現することに成功し、海洋大循環研究及び気候変動の解明に貢献するものと考えられます。シミュレーション科学の産業界への普及と実用化を目的とし、自動車工業会等民間との共同研究を積極的に実施しています。

また、「かいれい」「かいよう」による大陸棚画定調査に対する科学的貢献を始め、「しんかい6500」・「よこすか」での太平洋大航海「NIRAI-KANAI」では、東太平洋をはじめとする各海域において、約150日間に渡る地球物理学的調査や生物学的調査を行い、海洋底における世界最大級の溶岩流を発見することができました。

ハード面では、深海巡航探査機「うらしま」が世界初の燃料電池による長距離航行に成功し、317kmの航走を記録することができました。今後も航走性能だけでなく、海底探査機器等の搭載観測機器の試験を実施し、研究者の「研究設備」としての性能向上も目指して参ります。

さらに、昨年12月26日にインドネシア・スマトラ島沖で発生した巨大地震・津波の発生原因を解明するため、震央海域を中心とした緊急調査研究を、2月18日から3月19日にかけて海洋



深海巡航探査機「うらしま」

調査船「なつしま」にて実施しました。その結果、ハイパードルフィンのハイビジョンカメラにより、広範囲での崖の崩落や地滑り等が生じていることを世界で初めて発見し、鮮明な映像も記録できました。今後は取得したデータの解析を行い、今回の地震が引き起こされたメカニズムの解明に貢献するとともに、さらにはアジア地域における津波被害軽減システムの構築や、我が国の防災科学技術の推進にも貢献していきたいと考えております。



スマトラ島沖海底の大規模な亀裂の一部

他方、機構の運営面を見てみますと、この1年間はいわゆる「独立行政法人」即ち、目標に向かって効率的に業務を推進し、評価を受ける体制にまいりました。この正月の挨拶では、知的財産に目を向ける、コスト意識を持つ、社会貢献に努めよう、と呼びかけました。

本日から「独法」の2年目になるわけですが、今後の1年間で独法としての基盤を固めていく必要があります。

「アクションプランに沿う」「知財」「コスト意識」「社会貢献」といった考えをより浸透させていかなければなりません。

その上にたって、最近の内外の情勢にも対応していく必要があります。とりあえず、4点挙げてみました。

第一は政府の方では第3期科学技術基本計画の策定が進みます。その中では「基幹技術」にもっと目を向けようという動きがあり、我々海洋機構の業務も採りあげられようとしています。長期的ビジョンを持ちながら、適切に対応していく必要があります。

第二は、我々の進めている研究開発をより効率的、効果的に進めることです。例えば、今まで我々は地上あるいは海面、海中での観測が中心でありました。これらは、言わば点であります。宇宙からのいわゆる面のデータを活用し、より高次の解析、解明が出来るようになります。

また、機構の持つ地球シミュレータを機構自身をもっと活かして使っていきたいと考えています。これ以外にも、内外の情勢に対応し、機敏に施策を展開すべきものがあると考えています。

第三は各センターにおいてマキシマムに成果を出すことは重要ですが、それが機構としてもマキシマムの成果を出すようにしなければなりません。

昨年7月の機構改革で、センター化したところですが、センター化の弊害がでないよう、センター間がより連携し、あるいは意志の疎通が十分行われるようにしていただきたいと思ひます。

第四は、独法一般に求められている、「いわゆる外部から稼ぐこと」に関連し、社会貢献を兼ねながら、適切なものについて、事業化を試みたいと考えます。

機構の経営諮問委員の方から、海洋研究開発機構のブランドイメージを作った方がよいとの示唆をいただきました。

当機構が全国公募してつけられた船名に「みらい」と「ちきゅう」があります。幅広い国民の皆様から寄せられた負託に応えて、「地球」と「未来」を機構のイメージの軸にすえ、「海から地球を知り、その未来を予測する」ことを共通の目標として掲げて、皆様と2年目を歩みだしたいと思ひます。

最後になりましたが、健康管理は勿論のこと、職場環境での安全についても意識の向上に努めて戴きますよう、お願いいたしまして私のご挨拶とさせていただきます。



地球深部探査船「ちきゅう」

JAMSTEC NEWS

# 中山文部科学大臣、海洋研究開発機構主催 第7回全国児童「ハガキ にかこう海洋の夢絵画コンテスト」表彰式に出席

## 文部科学大臣賞



## 日本郵政公社総裁賞



楽しい海の中の郵便屋さん  
伊藤 優(いとう まさる)  
三重県 長島町立長島中部小学校3年

## 横須賀市長賞



海の中のねぶた祭り  
柿本 貴子(かきもと きこ)  
青森県 むつ市立吾生小学校6年

## むつ市長賞



GOGO海中タココースター  
吉村 賢人(よしむら まさと)  
神奈川県 横浜市立今宿小学校6年

## 名護市長賞



水中花火  
矢田 芳梨(やだ かおり)  
青森県 むつ市立大平小学校4年

## 横浜市長賞



うみのなかまとたのしいサンボ  
井出 夏樹(いで なつき)  
神奈川県 横須賀市立山崎小学校1年

私ものせて!タコさん観覧車  
阿部 舞子(あべ まいこ)  
北海道 留萌市立潮静小学校1年

## 横須賀市教育委員会教育長賞



海の密林でかくれんぼ  
鈴木 紗月(すずき さつき)  
宮城県 仙台市立吉成小学校4年

## むつ市教育委員会教育長賞



デンキナマズの地しんお知らせたい長とパトロール隊!  
山口 博之(やまぐち ひろゆき)  
東京都 北区立滝野川小学校3年

## 横浜市教育委員会教育長賞



うみの中のスーパーエクスプレス  
山崎 加周(やまざき かしゅう)  
神奈川県 鎌倉市立深沢小学校1年

## 名護市教育委員会教育長賞



そうじきで海のゴミをやっつけろ!!  
佐藤 舞季(さとう まいき)  
神奈川県 川崎市立稲田小学校2年

## 日本理科美術協会賞



海底都市アトランティス  
河村 康平(かわむら こうへい)  
神奈川県 横須賀市立田浦小学校6年

## 海洋研究開発機構理事長賞



サカナ号で海の中をドライブ!!  
満江 悠河(みぞえ ゆうが)  
青森県 相馬村立相馬小学校2年

第7回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢絵画コンテスト」は海洋研究開発機構が毎年主催し、文部科学省、日本郵政公社、横須賀市、むつ市、横浜市、名護市などの後援を頂きながら、全国の小学生を対象として、海について持っている夢や、期待などを題材として「ハガキ」に描く絵画コンテストです。



この絵画コンテストの表彰式が、去る3月28日に中山成彬文部科学大臣を虎ノ門パストラル(東京)にお招きし取り行われました。当日は、33,746点の応募作品の中から選ばれた上位入賞者17名とご家族、後援の関係者および審査員など100名を超える方々が参加しました。中山文部科学大臣は、子供たちの描いた作品の素晴らしさや、海に対する研究の必要性、未来を担う子供たちへの期待など、一人一人に語りかけるようご挨拶を述べられていました。その後、中山大臣から留萌市立潮静小学校1年 阿部舞子さんへ文部科学大臣賞として表彰状が贈られました。

なお、文部科学大臣賞受賞者他13名には8月中旬に鹿児島湾において「ハイパードルフィン」潜航クルーズにご招待し、海洋観測の現場と船内生活を体験して頂く予定です。

(総務部)

## 海洋研究開発機構賞



金賞 さかなレストラン  
松長 昂希(まつなが こうき)  
宮城県 宮崎市立瀬見小学校1年



銀賞 海の中のフルーツ  
三笠 明梨(みかさ あかり)  
兵庫県 神戸市立若宮小学校5年



銅賞 発進!カレイなカレイバス!!  
久松 慶子(ひさまつ けいこ)  
福岡県 春日市立春日小学校5年



金賞 海の中の公園  
嘉手納 温美(かてな あつみ)  
沖縄県 宜野座村立松田小学校5年



銀賞 魚の旅館・魚館の工事  
柳川 卓模(やながわ たくも)  
大阪府 熊取町立中央小学校6年



銅賞 お魚たちの話し声  
吉村 実央(よしむら まお)  
大阪府 吹田市立江坂大池小学校6年

## アイデア賞

アンコウのあかりでダンスパーティー	谷口 諒 愛知県 江南市立草井小学校4年
カニの床屋さんカッコよくしてネ!	末吉周一郎 沖縄県 伊平屋村立野南小学校4年
海の中の酸素製造機	柳澤 翔太 青森県 むつ市立第一田名部小学校5年
大きな魚もこわくない	鈴木 真弥 神奈川県 横須賀市立森崎小学校5年
ダイバーの夢	萩原 凜子 神奈川県 横浜市立釜利谷南小学校6年

## 努力賞

海中都市に住める日が来た	小園江奏波 東京都 昭和女子大学付属昭和小学校3年
人間と魚の生活家	石井 瑞規 神奈川県 川崎市立下布田小学校4年
海底探検 巨大生物発見!	若林 桂汰 静岡県 静岡市立清水浜田小学校5年
ミラクル!!超深海20000	小野寺勇征 青森県 むつ市立吾生小学校5年
私の海中演奏会	菊地 千陽 宮城県 仙台市立松陵西小学校6年

## 佳作

- 汽車によって海の中をたんけん 滝沢 晃平 青森県 むつ市立吾生小学校1年
- くらげのおそうじ屋さん 矢越 早紀 青森県 むつ市立吾生小学校1年
- 海の中のダンスホール 気仙 紗衣 青森県 大畑町立正津川小学校1年
- ほうぼうひこうきで7つのうみをとびまわろう! 中野 颯斗 長崎県 五島市立福江小学校1年
- たつのおとしごと遊び 加藤 優斗 愛知県 名古屋市立守山小学校2年
- たこのあく手会 菅野 里奈 青森県 むつ市立大湊小学校2年
- 海の子守唄 上田 紅緒 神奈川県 横浜市立西富岡小学校2年
- 人魚になって海の中を探検したいな 宮野真璃絵 青森県 むつ市立第二田名部小学校3年
- くらげUFOによって 新藤 大樹 静岡県 熱海市立初島小学校3年
- とげとげいかのまつり 大石 泰広 静岡県 静岡市立清水有度第二小学校3年
- 魚のむれでかくれんぼ 杉山 さよ 静岡県 御殿場市立御殿場南小学校4年
- にぎやかな音楽会 板倉みずき 神奈川県 川崎市立下布田小学校4年
- 海的美しさ伝えたい 上野真理奈 神奈川県 横浜市立神橋小学校4年
- 美しい海でかわいらしいアザラシたちと友達になって楽しく泳ぐ 久松 由佳 愛知県 美浜町立河和南部小学校5年
- せんそうがおわって 佐藤 波光 神奈川県 横浜市立氷取沢小学校5年
- タコの観覧車に、サメとワカメのジェットコースター、わくわく海の遊園地 佐野 笑子 神奈川県 横浜市立平沼小学校5年
- さんごの土俵ではっぴい!!!にらめっこ大ずもうオニオコ闘VS7の皮闘 竹内 翔祐 長崎県 佐世保市立白南風小学校5年
- リュウグウノツカイに乗って海底都市へ 八谷 説大 青森県 むつ市立大平小学校6年
- イルカの虹の輪くぐり 近藤 周佑 愛知県 美浜町立布土小学校6年
- 海のバレット・ウミウシの大行進 杉山 都 神奈川県 横浜市立鶴ヶ峯小学校6年